

名古屋市長 河村たかし 様
名古屋市健康福祉局生活福祉部 様

2020年4月26日
名古屋越冬実行委員会
連絡先：名古屋市中村区上米野町3-3-1
代表 東岡 牧

メールアドレス：higashiokamaki@yahoo.co.jp

【新型コロナウイルスの影響における野宿者への対策の要望書】

はじめに

新型コロナウイルス感染拡大の為、就職内定が取り消され、飲食店でアルバイト、パートで生計を立てている人、工場で働く人が解雇され生活できなくなり、ネットカフェやサウナで寝泊まりしながら仕事に行っている人も職と住み家を同時に無くしています。現場でどのような事が起こっているのかの報告と野宿にならないための対策と野宿している人への安全対策を要望します。

1. 各福祉事務所での水際作戦を今、すぐにやめさせて下さい。

①仕事と居宅を無くした人が生活保護の相談に来た時に担当者は居宅の説明もせず、すぐに「無料低額宿泊所」(以下 無低という)を紹介しています。集団生活の一時保護所を使いたくないのかもしれませんが、無低もクラスターが発生しやすい悪い環境です。基本的な生活保護の説明をして、申請審査期間中はビジネスホテルなどを利用して、生活保護法の正しい運用をして下さい。

②現在多くの人たちが失業して、福祉事務所は人でいっぱいです。担当する相談員も大変だと思いますが、相談の仕方が適当で雑です。真剣に聞いていません。これは相談員の問題もあると思いますが、オーバーワークです。医療現場が崩壊寸前と同様各福祉事務所も今に崩壊します。相談員の増員と特別相談所を設立する必要があります。又、大勢が福祉事務所に詰め寄るとそこがクラスターになります。今は緊急事態です。早急に対策をお願いします。

③現在、外国人の方が炊き出し時に相談に来られたという報告は聞いていませんが、多くの外国人が工場を解雇されています。その方々が相談しに来られた時の具体的な対策を教えてください。

2. 野宿している人が感染しないように、支援を強化して下さい。

現在、野宿の方のコロナウィルス感染又は、感染疑いの報告は受けていませんが、高

齢者や心臓病、糖尿病などの持病を持っている野宿の方はかなり弱っています。

- ① 野宿している方のほとんどがマスクを持っていません。保健師又は巡回相談員による野宿者へのマスク、アルコール消毒、配布をして健康チェックをして下さい。出来なければ、私たち越冬実行委員会が各団体に手配して、野宿者に配る事も出来ます。マスクは千枚くらい必要です。
- ② 現在、炊き出しを食べに来る人は増えているのに炊き出しをする団体が減ってきています。食糧支援してくれているセカンドハーベストも自粛し会社の物流が止まっているので、食糧もほとんど入って来ません。巡回相談員に栄養のある物(カロリーメイト的な物)を持たせて配って下さい。又、現地を回る人員を増やして下さい。

行政もコロナ対策で大変かと思いますが、これは緊急事態です。私たち越冬実行委員会はこの緊急事態に各団体が定期的集まり、現状を報告し合い、問題を出し、協議し、解決策を毎回話し合っています。こんな時だからこそ民間と行政が協力して、この危機を乗り越えたいと思います。

回答の日にちは設定しません。

良い案がありましたら、電話でもメールでも返答して下さい。

どうか、よろしくお願いします。